

交通事故防止の POINT

R7-④

歩行者の交通事故防止～道路横断時の事故防止～

前回の事故防止のポイント (R7-③) では、ドライバー目線で横断歩行者との事故についてその特徴を解説しました。そこで今回は、歩行者目線で道路横断時の事故防止について解説します。

※各データは令和2年～令和6年に愛知県内で発生した交通事故をもとに作成

歩行者死(傷)者の特徴①

道路横断中の事故が多発しています!

- 死傷者の半数以上(52.3%)、死者の6割以上(64.9%)は、**道路横断中**の事故です!
- 横断中死者の約6割が**横断歩道以外の場所**で衝突しています!

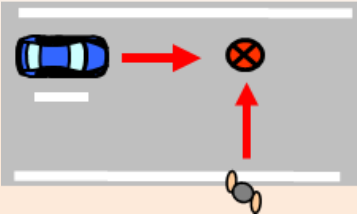
歩行者死(傷)者の特徴②

歩行者から見て

左から進行してくる車両

との死亡事故が多発しています。

左から来る車両



【歩行者死亡事故の進行方向別件数】

相手	右から来る車両	→差→	左から来る車両	計
歩行者				
総件数	23	約3.8倍	87	110

※特に夜間はその傾向が顕著(4.5倍)になります!

※事故類型「横断中」かつ信号のない場所での死亡事故を抽出



★ 危険な横断例 ★

この横断の場合、どこが危険か考えてみましょう。

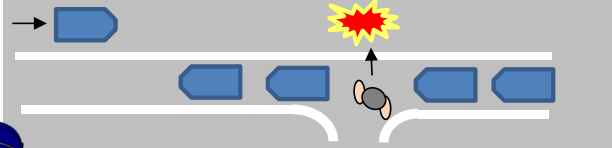
コンビニなど

ほんやり～



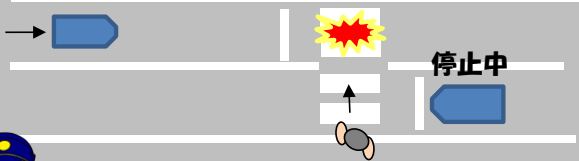
- ・横断前の確認のみで、その後は目的地(コンビニなど)ばかりを見ている。
- ・車は自分に気がついていていると思っている。

ほんやり～



- ・渋滞車両で左から来る車が見えていない。
- ・左から車が来る可能性を考えていない。
- ・「今なら渡れる!」と焦っている。

ほんやり～



- ・止まってくれた車に申し訳なく思い、急いで渡ろうと思い、左を見ていない。
- ・左の車も止まってくれろと思いついでいる。

①近くに横断歩道がある場合は、**必ず横断歩道**を利用しましょう。

②**左右の安全確認**をしてから横断しましょう。
(※少しでも迷ったら横断しない)

③遠くの車もあつという間に近づいてきます。
横断途中にもう一度安全確認をしましょう。

④「**ドライバーから自分は見えていない**」と**思って、横断を判断**しましょう。

なんと人身事故の原因の約3割は、**ドライバーの前方不注意**なんです!

【原付以上第一当事者の人身事故件数と人的要因】

人的要因	件数	構成率
前方不注意	30,500	27.1%
それ以外	82,180	72.9%
総数	112,680	100.0%